



製品安全データシート  
混合物用（塗料用）

072-1100-1/3

ロックペイント

整理番号 072-1100

製造者情報

会社名 ロックペイント株式会社  
 住所（本社所在地） 大阪市西淀川区姫島3-1-47  
 担当部門 品質保証部  
 担当者 杉田 博也 TEL 03-3640-2250 FAX 03-3640-0022  
 緊急連絡先（時間外） 本社工場 TEL 06-6473-1551  
 作成 平成 9年 3月19日  
 改訂 平成18年 7月20日

製品の特定

製品名 072ライン ユニロック ハイグロス  
 072-1100 ハイグロスホワイト

製品説明（種類）：アクリルエマルションペイント

物質の特定

成分名	CAS No.	含有量（重量%）	PRTR	備考
二酸化チタン	13463-67-7	20～25		
エチレングリコール	107-21-1	4.0	1種 #43	
ブチルセロソルブ	111-76-2	1～2		
テキサノール	25265-77-4	4～5		

危険有害性の分類

分類の名称：分類基準に該当しない。

危険有害性コメント

\*情報なし

応急措置

目に入った場合 \*直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。  
 \*出来るだけ早く医師の診断を受けること。  
 皮膚に付着した場合 \*付着物を布にて素早く拭き取る。  
 \*大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。  
 \*外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。  
 吸入した場合 \*蒸気、ガス等を吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受けること。  
 \*嘔吐物は飲み込ませないようにする。  
 \*直ちに医師の診断を受けること。  
 飲み込んだ場合 \*過って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
 \*嘔吐物は飲み込ませないこと。  
 \*医師の指示による以外、無理に吐かせないこと。

火災時の措置

使用可能消火剤 水〔○〕炭酸ガス〔○〕泡〔○〕粉末〔○〕乾燥砂〔○〕  
 消火方法 :このもの自体は、不燃物であるが水分蒸発後の残分は可燃性である。  
 \*燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。

## 漏出時の措置

- \*作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- \*スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。水での洗浄なども、河川等へ排出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。
- \*漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- \*付着物、廃棄物などは、関係法規にもとづいて処置をすること。

## 取り扱い及び保管上の注意

## 取り扱い上の注意

- \*換気のよい場所で取り扱う。
- \*容器はその都度密栓する。
- \*皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を着用する。

## 保管上の注意

- \*日光の直射、凍結を避ける。
- \*通風の良いところに保管する。

暴露防止措置  
設備対策

- \*情報なし。

## 保護具

- \*保護メガネを着用する。
- \*有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋、前掛けを着用する。
- \*ミストなどの吸入を防げる保護マスクを着用する。

## 製品の物理／化学的性質

状態	液体
色	白色
臭気	微アクリル臭
沸点	100℃（水）
蒸気圧	2338Pa（20℃ 水）
比重	1.28（20℃）
pH	7～10（20℃）
その他	水溶性

## 危険性情報

引火点	なし
発火点	情報なし
爆発限界	情報なし

反応性安定性 このものは燃えないが、塗膜等が燃焼するとCOなどを発生することがある。  
通常条件では安定である。

その他の危険性情報 特に無し。

## 有害性情報

## 組成物質有害性及び暴露許容濃度

物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	LD50(経口)	その他の有害性
二酸化チタン	4mg/m <sup>3</sup> *	10mg/m <sup>3</sup> *	3	7500mg/kg(rt)	*総粉塵として
エチレングリコール	設定なし	100mg/m <sup>3</sup> (C)	設定なし	4700mg/kg(rt)	
バチルセロソルブ	25ppm	25ppm	設定なし	530mg/kg(rt)	
テキサノール	設定なし	設定なし	設定なし	3200mg/kg(rt)	

組成物質有害性 エチレングリコールは皮膚、目に刺激性がある。長期、反復暴露により皮膚炎を起こすことがある。

製品有害性 製品としての安全性試験をしていない。

---

#### 環境影響情報

- \*漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
- \*製品や洗淨水が地面、川、排水溝に直接流れないようにすること。

---

#### 廃棄上の注意

- \*廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
- \*容器、機器装置等を洗淨した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
- \*排水処理などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。

---

#### 輸送上の注意

- \*取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。
- \*陸上輸送：法規に該当しない。
- \*海上輸送：船舶安全法に該当しない。
- \*航空輸送：航空法に該当しない。
- \*国連番号：なし

---

#### 適用法令

化学物質管理促進法（略称）：第1種指定化学物質

---

#### 参考文献

化学便覧基礎編 改訂3版（日本化学会編）  
12093の化学商品（化学工業日報社）  
MSDS用物質データベース（日本塗料工業会）  
製品安全データシート・ガイドブック（日本塗料工業会）  
原料メーカー製品安全データシート

---

#### 注意

この製品安全データシートは、安全な使用と取り扱いを確保する為の参考情報として現時点で入手できる、正確であると信用出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、多くの情報は弊社外の情報源から入手したものであり、その正確性、確実性を保証することは出来ません。また、製品についていかなる保証をするものでもありません。

記載している健康、安全に関する注意は総ての人、環境、安全、健康面の影響を網羅するものではなく、総ての原料には未知の危険有害性の存在する可能性がある為、取り扱いには十分な注意が必要です。

使用におかれましては、関係法令に従うと共に、この製品安全データシートを参考に、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定の上ご使用下さいますよう、また最新の情報を入手された場合は、最新情報の内容に従って安全にご使用下さいますようお願い申し上げます。